

研究課題名	赤ちゃんの位置的頭蓋変形に対する親への理学療法の指導による変形改善効果の研究
研究期間	実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	本研究では、赤ちゃんの頭のかたち外来を受診した位置的頭蓋変形の赤ちゃんで、親がヘルメット矯正治療を希望せず、以下の選択基準のすべてを満たし、除外基準のいずれにも該当しない者を研究対象者とする。
研究の目的・方法	研究目的：本研究の目的は、理学療法を親に指導した位置的頭蓋変形を有する赤ちゃんの、頭蓋変形矯正効果、改善の程度を探索することです 研究の方法：位置的頭蓋変形の赤ちゃんの親に対する理学療法として、①腹ばい、②抱っこ、③ポジショニングを指導して、1 か月後と 6 か月後に頭蓋変形の矯正効果を確認します。頭蓋矯正ヘルメット療法の効果と比較検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、頭蓋変形の程度（斜頭の数値として後頭部左右対称率、短頭の数値と cephalic index）、指導した理学療法の達成度を解析します。 情報の管理責任者：広島大学病院脳神経外科 山崎 文之
利用または提供を開始する予定日	2025 年 9 月（実施許可日以降）
個人情報の保護	（単独研究）得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 脳神経外科 准教授 山崎文之
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究同意後に情報が用いられることについて、代諾者の方が撤回される場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

	広島大学病院 脳神経外科 講師 担当者：武田 正明 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5481
--	--